

【問題提起】第4分科会

## 新たな精神医療へつながる「現状とこれから」を考える

運営委員 佐々木 和敏（島 根・西川病院労働組合）  
澤口 勇 （神奈川・藤沢病院労働組合）  
工藤 雅弘（東 京・慈雲堂病院労働組合）  
助言者 氏家 憲章（元日本医労連精神部会部会長）

現在、我が国の精神医療は「病院中心から地域生活中心へ」という大きな転換期を迎えております。少子高齢化に伴う人口減少、諸外国と比較して遅れている地域移行政策、障害者権利委員会からの勧告など、様々な要因が背景にあります。しかしながら、当事者・家族（国民）のニーズに合った当事者主体の精神医療・精神科病院の実現に向けて、我々の運動をさらに推進していくことが不可欠です。

そのためにも、精神保健医療福祉の現場を含む様々な現状と今後の政策を深く理解していくことが求められます。この度の第4分科会は「現状とこれから」をテーマに、皆様と共に議論を深める場となることを目的としています。つきましては、多くの方のご参加をお待ちしています。

### ●レポートの募集について

第4分科会では、精神医療の現場における現状について、幅広くレポートを募集いたします。皆様からの貴重なご報告などから、「現状とこれから」を一緒に考え・共有しましょう。